

ほのかの里 桜丘  
(別紙4-1)

### 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0175800259		
法人名	株式会社 クオス		
事業所名	ほのかの里 桜丘		
所在地	夕張郡栗山町桜丘1丁目80番地		
自己評価作成日	平成30年3月16日	評価結果市町村受理日	平成31年3月11日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_2018_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0175800259-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_2018_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0175800259-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成31年2月23日

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当施設は栗山町の高台に建てられており、桜の名所である栗山公園の近くにあります。札幌市、千歳空港からも車で1時間弱で来ることが出来、交通の便も良く住宅街にあるので環境に恵まれています。総合病院、スーパーマーケット、ホームセンター、コンビニなども近くに近く生活に便利なところです。入所者数9名のグループホームです。日中は職員3名が夜間は1名で生活全般のお世話をさせて頂いております。現在、平均年齢87歳の女性の方達が生活されており、皆さんでゲームをされたり、趣味を楽しまれたりと、銘々に、ご自分のペースでのんびりと過ごされています。同じ時代を生きてきたもの同士、会話も多く側で観て居てもとても微笑ましく思います。利用者様が「いつも笑顔で、安心して毎日を暮らせる」暖かみのある明るい施設です。

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「グループホームほのかの里桜丘」は、四季の移ろいを感じられる自然豊かな栗山公園の麓に位置し、建物はデイサービス併設型の平屋1ユニットの事業所である。広い前庭にある東屋は、外気浴やお茶を楽しむ憩いの場となっており、その一角の畑では利用者がこれまで培ってきた農作業などの腕を振る事ができるなど、生活の幅を広げる環境を整えている。今年度から管理者が代わる新たな体制となり、職員間で情報を共有し課題解決に向かえるよう業務の中でも工夫を凝らし、毎日多忙な中でも1人ひとりに意見を出してもらう機会を確保している。在宅の生活の延長線に利用者の暮らしがあるとの思いから、本人の生活習慣を大切にしつつ誇りや自尊心が保てるよう、役割や楽しみごとの中で発揮できたことなどを認め合い、保証し支え合うなどの関係性に努めている。適切な医療を受けられる支援では、比較の見過ごされがちな婦人科に関わる疾患の可能性について見極め、医療関係者の相談や連携のもとに早期の受診に至っている。食事は一つひとつ美味しく盛り付けで個別の好みに合わせた温度にして汁物を出し、イベントの出張握り寿司は大変好評である。利用者のできることを奪わない、無理強いせずにはできるところで家事や買い物、したいときにしたい事ができるよう、本人の意思を尊重しながら認知機能の低下予防の生活リハビリに力を入れ、利用者に寄り添い心を込めて様々な支援に取り組んでいる事業所である。

#### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	管理者および職員は事業所理念を念頭に置き、利用者様の処遇に活かせるよう努力しております。	「ゆったりと楽しく」「自由にありのままに」「暮らしの喜びと自信を」「いつも笑顔で、地域とともに」の4項目からなる理念を掲げている。本人の生活のペースや望む時間に合わせた対応に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日常は散歩道でのご挨拶程度なので、町内会などに参加要請があれば協力したいと思います。	散歩中に住民から一休みの声かけがあり、庭に用意された椅子に座り花や木々を眺めながらの交流や事業所へ野菜の差し入れがある。併設デイサービス主催、敬老会の催し物に参加し、地域の方々と一緒に集っている。	ボランティアの受け入れと町内会の行事に参加する意向を示しているため、その具体的な取り組みに期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方、利用者様のご家族などから認知症についてのご相談があった場合は段階を経て支援させて頂けるよう対応しております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度の運営会議では、各棟の管理者より利用者様の現状、又活動の内容等を報告し、その月当番管理者の用意した議題「認知症関連」についてそれぞれの立場から意見を頂いております。	同法人の他事業所との合同開催である。今年度は、口腔ケア、熱中症対策、認知症の症状・予防法・接し方など、詳しい資料を配布し、会議内で勉強会を行っている。	運営推進会議への家族の参加を促す予定であるため、その取り組みに期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	必要書類及び確認などは、役場窓口又電話などで相談したり、協力を得ています。	町の介護福祉課の担当者から案件について意見を仰ぐなど、密に連携を図っている。空知振興局担当者が定期的に訪れ、共に利用者の生活の安定に向け協働している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「身体拘束禁止の対象となる具体的な行為」を職員全員の目に入る場所に掲示し内容を周知しています。	「身体拘束廃止に関する指針」「身体拘束廃止委員会」を整備している。「身体拘束禁止の対象となる具体的な行為・身体拘束ゼロに向けての行動指針」を掲示し、職員へ周知している。現在、身体拘束は行われていない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待の幅は広く、よかれと思い行っていることが実は虐待に当たることも有ります。管理者、及び職員は互いに話し合い適切なケアが出来るよう予防に努めたいと思います。		

ほのかの里 桜丘

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修の機会には積極的に参加させて頂き、資料を通じて職員同士で情報を共有している。又制度が必要と思われる利用者様が居た際は活用できるよう支援したいと思います。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	代表者、運営者はご本人、ご家族と面談して契約説明をし、納得した上同意書等の署名、捺印を頂いております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご本人、ご家族の意見、要望、不満などがあれば、その都度記録している。入居者様に何か有ればその都度連絡している。又家族が来訪した際も訪ねやすい対応を心掛けております。	家族から、本人の話を聞いて欲しいなど率直な要望が出たり、利用者からは日々の事について職員に話す事があるなど、できるだけ話しやすい環境を整えている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議に代表者が参加され運営に関する方針、意向等を拝聴する機会がありました。、又職員側からの意見や要望なども聞いて頂いております。	職員の集まる休憩時間(ランチタイムやコーヒータイム)や申し送りの中で、日々の業務について情報を共有したり意見を聞いている。また、ボードを活用して職員からの提案などを貼り付けてもらっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は職員それぞれの要望に応じ勤務時間や配置場所を考えていると思います。又、施設内の環境整備は直接利用者様にも関わることなので速やかに対応してくれています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	働きながら資格を取り同系列会社の適切な位置で働いている方もいます。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修に参加する事で同業者とのコミュニケーションも取れ学ぶことも多いです。新規入所者の受け入れ時・又退去時など情報交換にも必要です。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人様の話を傾聴する事で、今まで培ってきた生活習慣を理解し、要望や困り事等も解決に向け支援しながら少しずつ新しい環境に慣れて頂けるよう努力しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族様の不安や要望などもよく伺いご本人様の対応の参考とさせて頂いております。必要時には互いに連絡を取り合い信頼関係を築いています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	意向や要望をよく伺い施設で出来る事、出来ない事、家族様の協力や民間のサービスで可能となることなど検討出来る事は対応させて頂きます。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の出来る事を尊重し、職員はあくまでもお手伝いさせて頂く立場で接する努力をしています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族来訪時にはむやみに立ち入らず、ゆっくりお話が出来よう配慮しております。その上で家族様の要望等伺い、又ご本人の普段の様子など伝え、離れて暮らしていても安心して頂けるよう努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	お盆やお正月以外にも家族様と一緒に買い物に出掛けたり、外食されてくる方もいます。又、週に1度必ず来られている家族様、遠方の方でも年に数回来られており、元の職場の友人、近所の方なども来られています。	同じ小学校であった友人や同僚だった方など、馴染みの方々が訪ねており、利用者の居室やリビングでゆっくり過ごしてもらっている。法事や墓参り、また、一時帰宅や外食など、家族と過ごす機会をサポートしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ゲームなど皆さんで楽しんで頂ける場を設けています。互いに助け合い近親感を持ち会話も多くなっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	町内に住むご家族様とは出会う機会もあり退所後の情報を得る場合もあります。お話を聞いたり、又相談事があれば応じたいと思います。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	基本的にはご本人の要望を優先し在宅での生活の延長線と考えています。今まで培ってきた生活習慣を大切にしたいです。	本人の言葉や様子により意向を把握したり、難しい場合は以前の様子などを家族に聞くなどして検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	フエースシート及び家族様に入所前に頂いた情報などでその方を知る参考にしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の関わりの中、多方面で観察行い記録しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者様の行動や言動などが、職員それぞれらえ方が違う面があり利用者様からの発信を探るべく対応を考えます。	ケースカンファレンスについては、職員個々に聞き取りを行う形式で実施し、モニタリングを得て介護計画を作成している。今後、利用者の状況を個人記録に具体的に記す事としている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常生活の中、心身面などの変化にケアの変更が必要な場合、皆で検討し反映しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	当施設は会社が他の事業も兼ねているため時には協力を得る場合があります。入退居時の引越しの支援、町外への外出の支援など。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	個人に対する行政のサービスなど家族様と連携し行っています。権利のあるものは受ける支援をしたと思います。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	町内の総合病院、眼科等の医療機関を受診しており、個々に主治医に診てもらっています。訪問歯科医も利用している方もおります。産婦人科については必要時町外の病院を受診します。	本人・家族が希望する医療機関の受診が可能で、主に管理者が通院支援を行っている。看護師による週に一度の健康管理や他科受診も柔軟に対応している。「受診記録」を整備している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週に1度、看護師の健康観察があります。利用者様の状態、受診結果等を伝えアドバイスと指示を頂いております。緊急時にも対応して頂いております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際には、病棟看護師より病状や快復度など聞ける情報は頂いております。ご家族様へも定期的にお知らせし、早期退院できる場合は受け入れ準備のため更に詳しく主治医からも意見を頂く事もあります。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	現在、訪問診療を利用されている方はおりません。医療を多く必要とする場合は、家族様、ケースワーカーなどと話し合い方向性を見いだしています。	「ほのかの里桜丘 重度化対応・終末期ケア対応指針」を整備している。食事が摂取できなくなった場合は、医師・家族・ケースワーカーと共に話し合いを行っている。他施設等へのスムーズな移行支援につなげている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	今年は救急救命関係の研修に参加する機会はなかったですが、危機感を持つ為定期的に話し合う事にはしています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回の火災避難訓練時は日中、夜間想定で行っています。9月に起きた地震では多くのことを学びました。職員会議を開き今後備え検討しています。	5月と11月に消防の協力を得て日中、夜間帯における避難訓練を実施している。スピーカーホンにより地域住民が1名駆けつけて訓練に参加している。災害備蓄品は屋外に確保し、浴槽に水を貯めるなど備えている。関係する設備の取り扱いについて情報を共有している。	救命救急訓練の職員の受講と、避難訓練を事前に知らせるなどして住民参加を促す意向であるので、その取り組みに期待したい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格の尊重を心掛けています。出来る事に自信を持ち出来ない事は少し手伝ってもらい維持が出来る、感謝や励ましの言葉を併に対処させて頂いています。	記録類は事務所で記入し、他者の目につかないよう保管している。トイレのパッド類も見えづらい工夫をしている。管理者は利用者への氏名の呼びかけや接遇について見直しが必要であると考えている。	接遇について見直しを図っていきたい考えを示している。職員が利用者本人の立場になった場合を想定するなどして、よりよい接遇に向け、今後に期待したい。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	説明と同意を心掛けています。障害により耳が不自由な方には理解を得られるよう筆談や身振り、手振りを加え、発語のない方も表情や仕草などからくみ取るようにしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	マイペースに生活されている方がほとんどだと思います。ロビーでテレビを観ながらソファで横になりたい方、ご自分のベットでないとゆっくりテレビが見られないという方、外の景色が観たいから窓側に居たいという方様々ですが仲良く生活されています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	着替え時などはご本人に確認しています。好きな色合い、派手目のもの、地味目、それぞれご本人に似合っていると思います。		

ほのかの里 桜丘

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	3食、皆さん同テーブルを囲う形で食事をされています。メニューは豊富ですが好き嫌いもある為別メニューや、食べやすくするため刻みで提供もしています。汁物なども温度に好みがあり意に沿うよう対応を心掛けています	本部から献立が届き、アレンジしながら食材を購入し調理している。誕生日には茶碗蒸しやケーキを提供している。近郊のレストランを利用することもある。利用者の前で職人が作る握りずしや巻きずしを食べることもある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	日々の摂食量、水分量は記録しています。食べる量や飲水量が少ない時には体調を考えますがそれぞれに食べる量の違い、好みを受容しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	要介護5の方お一人は職員が食後に介助していません。毎食後に歯磨きをされる方も居ますが他の方は夕食後に歯を磨いたり入れ歯の洗浄やうがいを行います。職員は個々に応じ介助しています。訪問歯科を利用されている方は2名おります。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	寝たきりの方お1人を除きトイレで排泄されています。その方に応じ対応しています。排尿間隔の空く方は声掛けし、暫く便座に座っていないと出ない方、頻尿の方、排便時手で掴みゴミ箱に捨てようとする方様々ですがともに歩行状態も悪いため介助しています。	全員分の排泄記録を付けている。他者に聞かれないよう利用者の耳元でトイレ誘導している。トイレで着脱を手伝いパッドが正しく装着できるよう支援をしている。排泄のタイミングを見逃さず不快な思いをしないよう配慮している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	どうしても便秘になる方は主治医に相談し便秘薬を処方して頂いています。排泄記録表を確認し状態に応じ水分を多く摂って頂いたり、歩行を促したり、便秘薬を与薬したりとしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴が嫌いな方がお一人いてこの方は週に1度のペースで入浴して頂いていますが機嫌を伺い実行しています。他の方は週に2回のペースで入浴して頂いていますがご本人に確認し同意を得て行っています。	利用者ごと週2回の入浴が設定されているが、入浴の苦手な利用者には無理強いせず、週1回の入浴タイミングを逃さず継続できる支援をしている。入浴後は保湿剤を塗り、皮膚乾燥を防いでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々のペースで過ごされていますが、体調により居室で安静を図る場合もあります。室内の温度や寝具なども季節に応じて変更し安眠できる環境づくりに努めています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の処方薬の目的・副作用・用法・用量を確認し正しく理解できるように努めております。処方薬が変更時は体調の変化の観察を行い、医療機関の受診につなげております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	歩行の安定した方には洗濯物を干して頂き、座って出来る方にはたたんで頂く。畑が好きな方は手伝って頂き買い物に行きたい方は同行する。皆で出来る事は共同で行う等日常生活の中に取り入れています。		

ほのかの里 桜丘

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	冬期間は通院の外出程度ですが人により売店での買い物を楽しみにされている方もいます。家族様と外出される方もいます。花見と紅葉見物、外食する機会も設けています。	転倒による骨折予防のために足を上げて歩けるよう散歩をし、道で近隣の花壇を見たり、ホーム前の東屋で畑の生育を眺めている。ドライブで栗山公園の桜や夕張の滝ノ上公園で紅葉を見たり、リンゴ畑で果実を買っている。個別の買い物で近くのスーパーに出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族様、ご本人の要望でお金を所持されている方は数名おります。外出時の買い物を楽しみにされています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人様から要望がある場合は対応しています。又家族様から電話が来ることもあります。お友達から定期的にはがきが届く方もおります。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	歩行の妨げにならないよう床はバリアフリーで各箇所には手すりが設置されています。全体的にシンプルですがベランダからは屋外が良く見渡せます。夏はエアコンを使用、冬期間はセントラル暖房で施設内の温度は一定に保たれています。日中はロビーのそれぞれの好きな場所で過ごされています。	日当たりのよいリビングは暖かく、植木鉢の水やりなど役割を発揮でき、職員と一緒に百人一首、かるた、トランプ、塗り絵などで楽しめる憩いの場となっている。空気清浄機やエアコンを使い適温適湿に保たれ居心地のよい空間となっている。トイレや風呂も暖かく、温度差を感じない。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ご自分の居室で休まれたり、仲の良い方の居室へ訪問されたり、それぞれに過ごされています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に家族様と居室の家具など設置される方がほとんどですが、要望があれば位置を変えるなどはしています。御仏壇を置いたり、レクで作った作品や塗り絵、など壁に貼られています。	ベッド、クローゼット、照明器具、カーテンが備えつけられた部屋にタンス、仏壇、テレビ、家族の写真、ぬいぐるみが飾られている。個人の特徴がでるよう配置を変えて安心して暮らせる居室になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	福祉用具の活用によりご自分の足で歩き、車イスを自走する事で移動が出来る。人の手を100%借りなくても出来る事への自信へ繋がっています。		

## 目標達成計画

事業所名 ほのかの里 桜丘

作成日：平成 31年 2月 26日

市町村受理日：平成 31年 3月 11日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の議事録はご家族へ送付されているか？ ご家族の参加がない。	今後は運営推進委員会の議事録を家族様へ送付する。 委員会へ家族様に参加して頂く。	施設利用料金等の領収書を送付する際に議事録を同封するか、ほのかの里桜丘だよりの中に運営推進会議開催の内容を記載する。現在検討中です。 現在2名の利用者様ご家族へ参加呼びかけ行っています。	1年
2	6	身体拘束適正化委員会に於いての議事録を運営推進会議で報告しているか？ 消火訓練に地域住民の参加がない。 町内会の行事や活動への参加がない。	身体拘束適正化委員会での議事録内容を運営推進会議の場で報告する。 火災訓練に地域住民の協力がある。 町内会の行事などに参加する。	運営推進会議に於いて身体拘束適正化委員会での討議内容を参加者へ報告する。 火災訓練の日程が決まり次第町内会の役員へ参加協力の依頼を行う。 回覧板などで清掃や活動等協力出来そうな事があれば利用者様と一緒に参加する。	1年
3	35	救急救命の訓練が必要。	年に1度救急救命の訓練を行う。	消防署へ救急救命の訓練を依頼しほのかの里3施設合同で訓練を行い救急救命の大切さを学ぶ。	1年
4	26	介護記録への記載が足りない。	プランに沿って詳しく介護記録を記入する。	モニタリングへの参考を含めその日有った些細なことでも記録するよう努める。	1年
5	36	利用者様への対応にバラツキが有る。	接遇マナー等を良く理解し、より良いホームに出来る事を目指す。	会議や引き継ぎの際に懇切、丁寧な対応が出来るか？適切な介護が行われているか？など話し合う機会を持つ。	1年

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。